

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【公表番号】特表2010-513337(P2010-513337A)

【公表日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-541801(P2009-541801)

【国際特許分類】

C 0 7 C 233/08 (2006.01)

C 0 7 D 207/27 (2006.01)

C 0 7 D 295/14 (2006.01)

C 0 7 D 295/18 (2006.01)

C 0 7 D 211/14 (2006.01)

C 0 7 D 413/04 (2006.01)

C 0 7 D 271/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/4015 (2006.01)

A 6 1 K 31/495 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 31/4245 (2006.01)

A 6 1 K 31/16 (2006.01)

A 6 1 K 31/19 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 5/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 37/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

C 0 7 C 231/02 (2006.01)

C 0 7 C 233/23 (2006.01)

C 0 7 C 233/02 (2006.01)

C 0 7 C 233/06 (2006.01)

C 0 7 C 235/14 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C	233/08	
C 0 7 D	207/27	C S P Z
C 0 7 D	295/14	A
C 0 7 D	295/18	Z
C 0 7 D	211/14	
C 0 7 D	413/04	
C 0 7 D	271/06	
A 6 1 K	31/4015	
A 6 1 K	31/495	
A 6 1 K	31/445	
A 6 1 K	31/4439	
A 6 1 K	31/4245	
A 6 1 K	31/16	
A 6 1 K	31/19	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	27/06	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	31/06	
A 6 1 P	31/08	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	13/12	
C 0 7 C	231/02	
C 0 7 C	233/23	
C 0 7 C	233/02	
C 0 7 C	233/06	
C 0 7 C	235/14	Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年6月19日(2013.6.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2】

Wが、CONR⁵R⁶、R⁵およびR⁶により置換されたオキサジアゾリルまたはフェ

ノキシである、請求項 1 に記載の化合物、
またはその生理学的に受容可能な塩、誘導体、プロドラッグ、溶媒和物もしくは立体異性体、またはそれらの全ての比率での混合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

アダマンチル残基が R^1 により二または三置換されている場合、2つまた3つの置換基は同一または異なっていることができ、これらは互いに独立して、H、A、Ar、ヘテロアリール、シクロアルキル、アルキルオキシ、アリールオキシ、Hal、OR⁷、SR⁷、N(R⁷)₂、NO₂、CN、(CH₂)_mCOOR⁷、(CH₂)_mCON(R⁷)₂、NR⁷COR⁷、NR⁷CON(R⁷)₂、NR⁷SO₂R⁷、COR⁷、COAr、SO₂NH₂、OSO₃R⁷、SO₂R⁷、SO₃R⁷、SO₂N(R⁷)₂、OCOR⁷およびOCON(R⁷)₂からなる群から選択される。

本発明の好ましい態様は、Wが、CONR⁵R⁶、R⁵およびR⁶により置換されたオキサジアゾリルまたはフェノキシである、式Iで表される化合物、またはその生理学的に受容可能な塩、誘導体、プロドラッグ、溶媒和物もしくは立体異性体、またはそれらの全ての比率での混合物である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

本発明のさらなる好ましい態様は、 R^1 が、H、Hal、OR⁷、SR⁷、N(R⁷)₂、CN、(CH₂)_mCOOR⁷、(CH₂)_mCON(R⁷)₂、NR⁷COR⁷、NR⁷CON(R⁷)₂、NR⁷SO₂R⁷、COR⁷、SO₂NH₂、OSO₃R⁷、SO₂R⁷、SO₃R⁷、SO₂N(R⁷)₂、OCOR⁷またはOCON(R⁷)₂であり、

R^2 が、HまたはMeであり、

R^3 、 R^4 が、互いに独立して、Halもしくはメチルであるか、または、 R^3 、 R^4 およびこれらが結合するCが、シクロペンチルまたはシクロヘキシルを形成し、

Wが、CONR⁵R⁶、R⁵およびR⁶により置換されたオキサジアゾリルまたはフェノキシである、

式Iで表される化合物、またはその生理学的に受容可能な塩、誘導体、プロドラッグ、溶媒和物もしくは立体異性体、またはそれらの全ての比率での混合物である。